

Numazu Fresh News

発信日:2015/ 1/13

発信者:沼津河川国道事務所

柿田川保全の取り組みを紹介 シンポジウム「ジオパークでつながる人と地域」にて

1月10日(土)に沼津市のプラザヴェルデで開催されたシンポジウム「ジオパークでつながる人と地域」において、ポスターセッションに参加し、ジオサイト柿田川の保全の取り組みを紹介しました。



来場者からの質問など対応しました ポスター協力:調査第一課



ポスターセッション会場



静岡大学
小山教授による
基調講演

シンポジウム主催:環境省関東地方環境事務所、伊豆半島ジオパーク推進協議会



ジオパークとは

「地球活動の遺産を主な見所とする自然の中の公園」

活動面から言うと「大地(ジオ)が育んだ貴重な資産を多数備えた地域が、それらの保全と活用によって経済・文化活動を高め、結果として地域振興につなげていく仕組み」
(「指針書」から抜粋)

- 1.地質・地形に限らずそれに由来する地域の文化・歴史・産業・動植物などを広く「大地の恵み」として、
- 2.価値あるものと認め、
- 3.それを子どもたちや訪問者に分かりやすく「物語る」
(教育・観光)「場所」という意味

伊豆半島ジオパークはH24.9に「日本ジオパーク」に認定されました。
また、H26.9に世界ジオパークの推薦が決定、H26.12.1に世界ジオパークネットワークに加盟申請書を提出しました。

当事務所も推進協議会のメンバー(顧問)として関わっています。

記事の詳細については(河)副所長(TEL:055-934-2001)にお問い合わせ下さい。

柿田川ジオサイト

柿田川(かきたがわ)

柿田川の湧水地は柿田川公園として整備されている。公園内の多数の「湧き間」では豊富な湧水が見られ、水辺にはミシマバイカモやさまざまなトンボなどの貴重な生態系を観察することができる。また、この「湧き間」では、地中にある約3200年前のカワゴ平(伊豆市)噴火の軽石が地下水とともに巻き上げられている様子も確認できる。



本城山(ほんじょうやま)

本城山は柿田川と狩野川の合流点の南側に位置する。標高76mの山頂には展望台が設置され、伊豆と本州の衝突に伴う大地形や三島〜柿田川の湧水群を作り出した扇状地の景観を一望できる。



(ジオパークのエリア拡大申請資料より)